



2024年11月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月9日

上場会社名 オーエスジー株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6136 URL https://www.osg.co.jp/about_us/ir/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大沢 伸朗
 問合せ先責任者 (役職名) 経理室長 (氏名) 坂下 洋輔 (TEL) 0533-82-1113
 定時株主総会開催予定日 2025年2月21日 配当支払開始予定日 2025年2月25日
 有価証券報告書提出予定日 2025年2月21日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期の連結業績(2023年12月1日～2024年11月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|-----------|---------|-----|--------|------|--------|------|-----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年11月期 | 155,517 | 5.3 | 18,868 | △4.7 | 19,825 | △7.1 | 13,439 | △6.1 |
| 2023年11月期 | 147,703 | 3.6 | 19,800 | △9.6 | 21,350 | △9.7 | 14,307 | △13.5 |

(注) 包括利益 2024年11月期 12,663百万円(△48.4%) 2023年11月期 24,543百万円(△19.6%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|-----------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2024年11月期 | 148.94 | 133.97 | 7.7 | 7.8 | 12.1 |
| 2023年11月期 | 149.29 | — | 8.3 | 8.9 | 13.4 |

(参考) 持分法投資損益 2024年11月期 △7百万円 2023年11月期 △8百万円

(注) 2023年11月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-----------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年11月期 | 257,256 | 179,411 | 64.8 | 1,962.21 |
| 2023年11月期 | 250,124 | 194,640 | 72.6 | 1,892.35 |

(参考) 自己資本 2024年11月期 166,633百万円 2023年11月期 181,561百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|-----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2024年11月期 | 28,557 | △21,741 | △7,985 | 48,206 |
| 2023年11月期 | 23,331 | △8,543 | △3,831 | 49,722 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2023年11月期 | — | 28.00 | — | 32.00 | 60.00 | 5,758 | 40.2 | 3.3 |
| 2024年11月期 | — | 28.00 | — | 32.00 | 60.00 | 5,262 | 40.3 | 3.1 |
| 2025年11月期(予想) | — | 28.00 | — | 32.00 | 60.00 | | 35.1 | |

3. 2025年11月期の連結業績予想(2024年12月1日～2025年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|-----|--------|------|--------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 79,000 | 1.7 | 10,100 | 3.4 | 10,700 | △1.6 | 7,100 | △1.6 | 83.61 |
| 通期 | 160,000 | 2.9 | 21,000 | 11.3 | 22,000 | 11.0 | 14,500 | 7.9 | 170.75 |

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 10社(社名)Precision Tools Holding B.V. 他9社、除外 1社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2024年11月期 | 99,182,517株 | 2023年11月期 | 99,182,517株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年11月期 | 14,261,174株 | 2023年11月期 | 3,237,817株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2024年11月期 | 90,233,194株 | 2023年11月期 | 95,838,730株 |

(注)オーエスジー社員持株会専用信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2023年11月期95,892株、2024年11月期1株)。なお、2023年10月をもって当該信託は終了しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年11月期の個別業績(2023年12月1日~2024年11月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|-----------|----------------|------|-----------------------|-------|--------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年11月期 | 56,411 | 1.9 | 5,175 | △3.8 | 11,059 | 10.3 | 9,130 | 21.7 |
| 2023年11月期 | 55,362 | △2.8 | 5,379 | △20.1 | 10,026 | △23.7 | 7,504 | △28.1 |
| | 1株当たり 当期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | | | | | |
| | 円 銭 | | 円 銭 | | | | | |
| 2024年11月期 | 101.15 | | 90.92 | | | | | |
| 2023年11月期 | 78.28 | | - | | | | | |

(注)2023年11月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-----------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年11月期 | 127,331 | 64,773 | 50.9 | 762.40 |
| 2023年11月期 | 122,106 | 82,998 | 68.0 | 864.74 |

(参考) 自己資本 2024年11月期 64,773百万円 2023年11月期 82,998百万円

2. 2025年11月期の個別業績予想(2024年12月1日~2025年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|------|--------|-------|-------|-------|--------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | |
| 第2四半期(累計) | 29,000 | 4.5 | 2,900 | 12.5 | 5,800 | △15.9 | 4,800 | △18.2 | 円 銭 56.50 |
| 通 期 | 59,500 | 5.5 | 6,000 | 15.9 | 10,600 | △4.2 | 8,900 | △2.5 | 104.76 |

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「今後の見通し」をご覧ください。

・当社は、機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。なお、当日に使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 4 |
| (4) 今後の見通し | 5 |
| (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 5 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 5 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 10 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 12 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 14 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 14 |
| (セグメント情報等) | 14 |
| (1株当たり情報) | 16 |
| (重要な後発事象) | 16 |
| (6) 販売の状況 | 17 |
| 4. その他 | 17 |
| (1) 役員の異動 | 17 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 |
|-----------|---------|--------|--------|-----------------|
| 2024年11月期 | 155,517 | 18,868 | 19,825 | 13,439 |
| 2023年11月期 | 147,703 | 19,800 | 21,350 | 14,307 |
| 増減率 | 5.3% | △4.7% | △7.1% | △6.1% |

当連結会計年度における経済環境は、緩やかな成長トレンドとなりました。世界的なインフレ圧力の緩和が見られ、米国や欧州での利下げが行われた一方、日本では物価上昇率を2%で安定させる目途がついたことを受けて日銀による利上げが行われました。しかし世界的な内需の減少は継続しており、特に依然消費と投資の低迷が顕著な中国経済は成長鈍化が続きました。また、ウクライナ情勢やパレスチナ問題等の地政学リスクへの警戒感は引き続き高く、加えて米国ではトランプ氏が大統領選挙で再選を果たしたことにより今後保護主義的な政策の増加が予想されるなど、先行き不透明な状況となっております。一方で為替市場における主要通貨の動きは、7月までは大きく円安方向に進んでおりましたがその後は円高方向に動き、最終的には期首と同水準で着地しました。

当社グループにおいては、為替換算の影響もあり全ての地域において売上高は前期と比較して増加しましたが、利益面においては人件費や原材料等の高騰等により減少し、増収減益という結果になりました。

以上の結果、売上高は155,517百万円（前期比5.3%増）、営業利益は18,868百万円（前期比4.7%減）、経常利益は19,825百万円（前期比7.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は13,439百万円（前期比6.1%減）となりました。また、海外売上高比率は円安の影響もあり、前期と比較して増加し、68.0%（前期は67.0%）となっております。

セグメントの業績は次のとおりです。

(日本)

売上高は74,307百万円（前期比1.4%増）、営業利益は7,205百万円（前期比9.7%減）となりました。

国内では、インフレ率の安定を受けて利上げが行われたほか、定額減税の実施を背景とする個人消費の押し上げがありました。自動車認証不正問題の影響や設備投資の遅延等もあり、景気回復は足踏み状態となりました。特に自動車認証不正問題では一部自動車メーカーにおいて生産・出荷停止が発生するなど、回復基調にあった自動車関連産業への影響も出ており、製造業の生産活動は一進一退が続きました。

上記のように足元は依然として不透明感のある状況となっており、前期と比較すると売上高は微増となったものの、営業利益は減少しました。

(米州)

売上高は35,863百万円（前期比8.7%増）、営業利益は4,411百万円（前期比2.4%減）となりました。

主要市場の北米ではインフレが落ち着きをみせてきたことにより利下げが行われました。個人消費や設備投資が底堅く推移して全体として回復基調を維持しましたが、企業の景況感を示すISM景況指数を見ると、非製造業が好調である一方、製造業では判断の目安となる50の水準を下回るなど、業種によって強弱のある結果となりました。南米ブラジルにおいても市況はまだら模様となっており、航空機関連産業では多くの受注を抱えて増産体制を取るなど回復基調にある一方で、自動車関連産業では横ばいの傾向が続いております。

以上の結果、前期と比較して為替換算の影響もあり売上高は増加しましたが、各種費用の増加により営業利益は減少しました。

(欧州・アフリカ)

売上高は37,020百万円(前期比9.4%増)、営業利益は3,117百万円(前期比15.2%減)となりました。

主要市場である欧州の経済は、インフレ圧力の緩和から4年9ヶ月ぶりの利下げが行われ、パリ五輪による特需などを背景に個人消費は増加しました。一方で外需の低迷を背景に製造業の不振は長期化、特に中国向け輸出の減少が顕著となりました。国別に見ると特にドイツの製造業が不振に陥っており、主要輸出先の中国の深刻な内需低迷やコスト高による競争力の低下など、複合的な要因が生産活動を阻害しました。業種別では自動車関連産業は引き続き回復途上がありますが、航空機関連産業は回復基調が続いており新規案件も増加しています。

以上の結果、為替換算の影響もあり売上高は増加しましたが、人件費等のコスト増加を受けて営業利益は減少しました。

(アジア)

売上高は37,782百万円(前期比5.0%増)、営業利益は4,153百万円(前期比6.6%減)となりました。

中国経済は、回復傾向にはあるものの国内需要は依然力強さを欠いております。11月の製造業PMIは3ヶ月連続で上昇し改善の兆しが見られた一方で、非製造業PMIは低下したものの好不況の境目である50を維持しました。足元の輸出は堅調に推移していますが、中国にとって最大の輸出相手国である米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利し、今後中国に対して厳しい姿勢で臨むことが予想されており、先行き不透明な状況となっております。輸出主導である台湾においても、外需の減少により厳しい状況となりましたが、業種によっては回復の兆しが見られます。韓国においては、景気全般は横ばいで推移しましたが、自動車関連産業や航空機関連産業は回復基調にあります。その他のアジア諸国においては、国によって強弱のある結果となりました。

上記のように国によってまだら模様となっているものの、大きく落ち込んだ前期と比較すると売上高は増加しましたが、各種コストの増加等を背景に営業利益は減少しました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

総資産は、前期末と比較して7,131百万円増加し、257,256百万円となりました。

流動資産は、前期末と比較して3,063百万円減少し、144,453百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2,195百万円、原材料及び貯蔵品が516百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前期末と比較して10,081百万円増加し、112,689百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が5,224百万円、子会社株式の取得に伴いのれん及びその他の無形固定資産が増加したことによるものであります。

(負債)

負債は、前期末と比較して22,360百万円増加し、77,844百万円となりました。

流動負債は、前期末と比較して2,908百万円増加し、27,461百万円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が2,542百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前期末と比較して19,451百万円増加し、50,383百万円となりました。これは主に、長期借入金が3,822百万円減少した一方で、転換社債型新株予約権付社債が22,188百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前期末と比較して15,228百万円減少し、179,411百万円となりました。これは主に、自己株式が21,932百万円、利益剰余金が7,767百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は64.8%(前期末は72.6%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースでの現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は48,206百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,516百万円の減少となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は28,557百万円（前期比5,226百万円増）となりました。これは税金等調整前当期純利益19,803百万円、減価償却費11,824百万円、法人税等の支払額5,521百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は21,741百万円（前期比13,197百万円増）となりました。これは有形固定資産の取得による支出15,509百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出5,418百万円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は7,985百万円（前期比4,153百万円増）となりました。これは転換社債型新株予約権付社債の発行による収入22,087百万円、自己株式の取得による支出22,001百万円、配当金の支払額5,612百万円等であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 2020年11月期 | 2021年11月期 | 2022年11月期 | 2023年11月期 | 2024年11月期 |
|-------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 自己資本比率 | 64.6% | 68.6% | 72.0% | 72.6% | 64.8% |
| 時価ベースの自己資本比率 | 91.9% | 76.6% | 80.9% | 70.6% | 57.9% |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率 | 2.5年 | 1.1年 | 1.3年 | 1.2年 | 1.7年 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ | 75.1倍 | 104.6倍 | 68.0倍 | 80.2倍 | 105.6倍 |

(注) 自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は、期末日現在の株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

※営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

※利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しについては、欧州における景気後退懸念、中国の内需停滞、米国のトランプ政権の政策に伴う保護主義的な動向など、経済環境の先行きに不透明感はあるものの、以下の政策を実直に遂行することで、足元をしっかりと固めた経営を行ってまいります。

当社グループは、海外市場でのシェアアップを最重要課題とし、グローバルで大手ユーザー開拓とAブランド製品戦略を推進することにより、一層の成長を目指しております。また、2022年11月期より開始した中期経営計画においては、収益性及び事業効率の改善により強固な企業体質を作り、カーボンニュートラル時代に向けてこれまで注力してきた自動車関連産業、航空機関連産業のみならず、半導体・5G産業、ロボット・自動化関連・機械部品産業、モビリティ産業、医療産業など成長が見込まれる市場において販路拡大を目指して顧客開拓を推進しました。この取組みは2025年11月期から開始した中期経営計画においても継続して推進してまいります。また、2024年7月にM&Aによって新たにグループに加わったダイヤモンド工具メーカーのContour社と当社グループとのシナジー効果を発揮し、新たにレンズ業界向けの販路の拡大を目指してまいります。

以上により、2025年11月期の連結売上高は160,000百万円（前期比2.9%増）、営業利益は21,000百万円（前期比11.3%増）、経常利益は22,000百万円（前期比11.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は14,500百万円（前期比7.9%増）を見込んでおります。

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 |
|---------------|---------|--------|--------|-----------------|
| 2025年11月期（予想） | 160,000 | 21,000 | 22,000 | 14,500 |
| 2024年11月期（実績） | 155,517 | 18,868 | 19,825 | 13,439 |
| 増減率 | 2.9% | 11.3% | 11.0% | 7.9% |

※上記予想については、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主への利益配分を重要な経営課題のひとつとして認識し、連結ベースでの公約配当性向を2022年11月期より30%から35%に引き上げております。また、今後は業績の推移を見ながら、40%の配当性向を目指します。

フリーキャッシュ・フローについては、既存コアビジネスの拡大、グローバルな事業展開等、企業価値を高める事業に優先的に投資し、株主への利益還元策としての自己株式の取得も資本の状況、業績動向、当社の株価水準、成長投資機会、資本効率向上等を考慮し判断します。2024年11月期においては、2023年12月5日の取締役会決議に基づき株式総数11,059,200株、総額21,999百万円の自己株式を取得いたしました。また、当該自己株式の取得の資金調達を目的とした新株予約権付社債を発行いたしました。

内部留保につきましては、新製品開発、国内外の生産・販売体制の強化・拡充に活用し、長期的な視野に立った財務体質、経営基盤の強化に努めてまいります。

当期の期末配当金については、1株につき32円とさせていただきます。これにより、中間配当金28円と合わせた当期の年間配当金は1株当たり60円（前期と同額）となります。

また、次期の配当金については1株当たり60円（中間28円、期末32円）を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年11月30日) | 当連結会計年度 (2024年11月30日) |
|----------------|--------------------------|--------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 57,970 | 55,774 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 28,645 | 28,244 |
| 有価証券 | 1 | 104 |
| 商品及び製品 | 38,529 | 38,621 |
| 仕掛品 | 7,544 | 7,476 |
| 原材料及び貯蔵品 | 10,420 | 9,904 |
| その他 | 4,602 | 4,524 |
| 貸倒引当金 | △197 | △196 |
| 流動資産合計 | 147,517 | 144,453 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 61,979 | 62,923 |
| 減価償却累計額 | △37,814 | △39,576 |
| 建物及び構築物（純額） | 24,165 | 23,347 |
| 機械装置及び運搬具 | 162,685 | 166,773 |
| 減価償却累計額 | △124,904 | △129,307 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 37,780 | 37,465 |
| 工具、器具及び備品 | 11,439 | 12,138 |
| 減価償却累計額 | △9,257 | △9,608 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 2,181 | 2,529 |
| 土地 | 16,343 | 16,673 |
| 建設仮勘定 | 3,468 | 8,693 |
| その他 | 1,672 | 2,022 |
| 減価償却累計額 | △908 | △875 |
| その他（純額） | 764 | 1,146 |
| 有形固定資産合計 | 84,705 | 89,856 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 3,692 | 4,749 |
| その他 | 1,760 | 4,918 |
| 無形固定資産合計 | 5,453 | 9,668 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 5,812 | 6,351 |
| 出資金 | 346 | 360 |
| 長期貸付金 | 400 | 403 |
| 繰延税金資産 | 4,041 | 4,287 |
| 退職給付に係る資産 | 219 | 234 |
| その他 | 1,976 | 1,867 |
| 貸倒引当金 | △347 | △340 |
| 投資その他の資産合計 | 12,449 | 13,164 |
| 固定資産合計 | 102,607 | 112,689 |
| 繰延資産 | | |
| 社債発行費 | - | 113 |
| 繰延資産合計 | - | 113 |
| 資産合計 | 250,124 | 257,256 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年11月30日) | 当連結会計年度 (2024年11月30日) |
|---------------|--------------------------|--------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,019 | 5,792 |
| 短期借入金 | 672 | 185 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,638 | 4,181 |
| 未払費用 | 9,224 | 9,171 |
| 未払法人税等 | 1,733 | 2,170 |
| 役員賞与引当金 | 332 | 310 |
| 環境対策引当金 | - | 72 |
| その他 | 4,932 | 5,577 |
| 流動負債合計 | 24,552 | 27,461 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 10,000 | 10,000 |
| 転換社債型新株予約権付社債 | - | 22,188 |
| 長期借入金 | 16,365 | 12,543 |
| 繰延税金負債 | 2,011 | 2,667 |
| 退職給付に係る負債 | 990 | 1,067 |
| その他 | 1,564 | 1,915 |
| 固定負債合計 | 30,931 | 50,383 |
| 負債合計 | 55,484 | 77,844 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 13,044 | 13,044 |
| 資本剰余金 | 13,330 | 13,327 |
| 利益剰余金 | 140,361 | 148,128 |
| 自己株式 | △5,845 | △27,778 |
| 株主資本合計 | 160,891 | 146,722 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,326 | 1,598 |
| 繰延ヘッジ損益 | - | 3 |
| 為替換算調整勘定 | 19,342 | 18,308 |
| その他の包括利益累計額合計 | 20,669 | 19,911 |
| 非支配株主持分 | 13,079 | 12,778 |
| 純資産合計 | 194,640 | 179,411 |
| 負債純資産合計 | 250,124 | 257,256 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日) | 当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 147,703 | 155,517 |
| 売上原価 | 87,254 | 92,042 |
| 売上総利益 | 60,448 | 63,475 |
| 販売費及び一般管理費 | 40,648 | 44,606 |
| 営業利益 | 19,800 | 18,868 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 829 | 994 |
| 受取配当金 | 178 | 175 |
| 仕入割引 | 45 | 37 |
| 為替差益 | 84 | - |
| 補助金及び助成金 | 263 | 369 |
| その他 | 843 | 874 |
| 営業外収益合計 | 2,244 | 2,451 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 302 | 275 |
| 持分法による投資損失 | 8 | 7 |
| 為替差損 | - | 681 |
| その他 | 384 | 530 |
| 営業外費用合計 | 694 | 1,494 |
| 経常利益 | 21,350 | 19,825 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | - | 212 |
| 受取保険金 | - | 131 |
| 関係会社出資金売却益 | 144 | - |
| 特別利益合計 | 144 | 344 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券売却損 | - | 162 |
| 盗難損失 | - | 131 |
| 環境対策引当金繰入額 | - | 72 |
| 貸倒引当金繰入額 | 540 | - |
| 在外子会社における送金詐欺損失 | 132 | - |
| 関係会社株式評価損 | 74 | - |
| 特別損失合計 | 747 | 366 |
| 税金等調整前当期純利益 | 20,747 | 19,803 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 6,102 | 6,400 |
| 法人税等調整額 | △166 | △596 |
| 法人税等合計 | 5,936 | 5,804 |
| 当期純利益 | 14,811 | 13,999 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 503 | 560 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 14,307 | 13,439 |

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日) | 当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日) |
|------------------|--|--|
| 当期純利益 | 14,811 | 13,999 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 450 | 274 |
| 繰延ヘッジ損益 | △0 | 3 |
| 為替換算調整勘定 | 9,291 | △1,612 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △9 | △1 |
| その他の包括利益合計 | 9,732 | △1,335 |
| 包括利益 | 24,543 | 12,663 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 23,116 | 12,673 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 1,427 | △9 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------|--------|--------|---------|--------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 13,044 | 13,792 | 132,320 | △6,388 | 152,768 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △6,237 | | △6,237 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 14,307 | | 14,307 |
| 自己株式の取得 | | | | △9 | △9 |
| 自己株式の処分 | | 6 | | 552 | 558 |
| 連結範囲の変動 | | △173 | △1 | | △175 |
| 連結子会社株式の 取得による持分の増減 | | △282 | | | △282 |
| 連結子会社出資金の 取得による持分の増減 | | △38 | | | △38 |
| 利益剰余金から 資本剰余金への振替 | | 27 | △27 | | - |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | - | △461 | 8,041 | 542 | 8,122 |
| 当期末残高 | 13,044 | 13,330 | 140,361 | △5,845 | 160,891 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|-------------------------|------------------|---------|--------------|-------------------|---------|---------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 為替換算調整 勘定 | その他の包括利 益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 852 | 0 | 11,038 | 11,890 | 12,178 | 176,838 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △6,237 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | | | | 14,307 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △9 |
| 自己株式の処分 | | | | | | 558 |
| 連結範囲の変動 | | | | | | △175 |
| 連結子会社株式の 取得による持分の増減 | | | | | | △282 |
| 連結子会社出資金の 取得による持分の増減 | | | | | | △38 |
| 利益剰余金から 資本剰余金への振替 | | | | | | - |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | 474 | △0 | 8,304 | 8,778 | 900 | 9,679 |
| 当期変動額合計 | 474 | △0 | 8,304 | 8,778 | 900 | 17,802 |
| 当期末残高 | 1,326 | - | 19,342 | 20,669 | 13,079 | 194,640 |

当連結会計年度(自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------|--------|--------|---------|---------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 13,044 | 13,330 | 140,361 | △5,845 | 160,891 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △5,614 | | △5,614 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 13,439 | | 13,439 |
| 自己株式の取得 | | | | △22,006 | △22,006 |
| 自己株式の処分 | | 5 | | 74 | 79 |
| 連結範囲の変動 | | △16 | △49 | | △66 |
| 利益剰余金から 資本剰余金への振替 | | 8 | △8 | | - |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | - | △3 | 7,767 | △21,932 | △14,169 |
| 当期末残高 | 13,044 | 13,327 | 148,128 | △27,778 | 146,722 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|-------------------------|------------------|---------|--------------|-------------------|---------|---------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 為替換算調整 勘定 | その他の包括利 益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 1,326 | - | 19,342 | 20,669 | 13,079 | 194,640 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △5,614 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | | | | 13,439 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △22,006 |
| 自己株式の処分 | | | | | | 79 |
| 連結範囲の変動 | | | | | | △66 |
| 利益剰余金から 資本剰余金への振替 | | | | | | - |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | 271 | 3 | △1,033 | △758 | △301 | △1,059 |
| 当期変動額合計 | 271 | 3 | △1,033 | △758 | △301 | △15,228 |
| 当期末残高 | 1,598 | 3 | 18,308 | 19,911 | 12,778 | 179,411 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日) | 当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日) |
|-----------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 20,747 | 19,803 |
| 減価償却費 | 11,037 | 11,824 |
| のれん償却額 | 903 | 1,005 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 522 | 3 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △44 | △21 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 84 | 52 |
| 債務保証損失引当金の増減額 (△は減少) | △85 | - |
| 環境対策引当金の増減額 (△は減少) | - | 72 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,007 | △1,170 |
| 支払利息 | 302 | 275 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | 8 | 7 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | - | △50 |
| 受取保険金 | - | △131 |
| 関係会社出資金売却益 | △144 | - |
| 盗難損失 | - | 131 |
| 在外子会社における送金詐欺損失 | 132 | - |
| 関係会社株式評価損 | 74 | - |
| 売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加) | △480 | 450 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △2,076 | 519 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △56 | △453 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | 77 | △167 |
| その他 | 692 | 936 |
| 小計 | 30,688 | 33,089 |
| 利息及び配当金の受取額 | 977 | 1,128 |
| 保険金の受取額 | - | 131 |
| 利息の支払額 | △292 | △270 |
| 在外子会社における送金詐欺損失の支払額 | △132 | - |
| 法人税等の支払額 | △7,909 | △5,521 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 23,331 | 28,557 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日) | 当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日) |
|-----------------------------|--|--|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △3,524 | △6,770 |
| 定期預金の払戻による収入 | 6,036 | 7,413 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △16 | △4 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 12 | 298 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △10,580 | △15,509 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 537 | 240 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △578 | △683 |
| 子会社株式の取得による支出 | △1,037 | △694 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | - | △5,418 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社出資金の売却による収入 | 552 | - |
| その他 | 56 | △612 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △8,543 | △21,741 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △39 | △22 |
| 長期借入れによる収入 | 39 | - |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,955 | △1,701 |
| 転換社債型新株予約権付社債の発行による収入 | - | 22,087 |
| 社債の発行による収入 | 5,000 | - |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 | △381 | △23 |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社出資金の取得による支出 | △112 | - |
| 自己株式の取得による支出 | △3 | △22,001 |
| 自己株式の売却による収入 | 460 | - |
| 配当金の支払額 | △6,220 | △5,612 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △305 | △295 |
| その他 | △312 | △416 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △3,831 | △7,985 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 1,975 | △412 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 12,931 | △1,581 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 36,717 | 49,722 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 73 | 42 |
| 非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額 | - | 21 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 49,722 | 48,206 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、主に精密機械工具を生産・販売しており、国内においては当社が、海外においては米州（米国、カナダ、メキシコ、ブラジル）、欧州・アフリカ（英国、アイルランド、ベルギー、フランス、オランダ、デンマーク、スペイン、ドイツ、イタリア、スイス、トルコ、ルーマニア、ポーランド、南アフリカ）、アジア（中国、シンガポール、タイ、台湾、韓国、インド、インドネシア、ベトナム、フィリピン、マレーシア）等の各地域をOSG USA, INC.（米国）、OSG Europe S.A.（ベルギー）、欧士机（上海）精密工具有限公司（中国）、韓国OSG株式会社（韓国）、OSG Asia Pte Ltd.（シンガポール）及びその他の現地法人が、それぞれ担当しています。アジアについては、地理的に近接しており、販売する市場又は顧客の種類、販売方法が類似していることから、1つの集約した事業単位として管理しています。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

従って、当社は生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米州」、「欧州・アフリカ」及び「アジア」の4つを報告セグメントとしています。各報告セグメントでは、主として精密機械工具を生産・販売しています。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、最近の有価証券報告書（2024年2月16日提出）の「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 連結財務諸表 計上額 (注) 2 |
|------------------------|---------|--------|-------------|--------|---------|--------------|------------------------|
| | 日本 | 米州 | 欧州・ アフリカ | アジア | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 49,619 | 32,126 | 33,590 | 32,367 | 147,703 | — | 147,703 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 23,663 | 865 | 240 | 3,612 | 28,382 | △28,382 | — |
| 計 | 73,283 | 32,991 | 33,830 | 35,979 | 176,085 | △28,382 | 147,703 |
| セグメント利益 | 7,975 | 4,520 | 3,675 | 4,445 | 20,616 | △816 | 19,800 |
| セグメント資産 | 130,533 | 46,785 | 38,839 | 72,070 | 288,228 | △38,103 | 250,124 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 5,365 | 1,560 | 1,257 | 3,190 | 11,374 | △336 | 11,037 |
| のれんの償却額 | — | 307 | 595 | — | 903 | — | 903 |
| 持分法適用会社への 投資額 | 264 | 34 | — | — | 299 | — | 299 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 5,201 | 1,907 | 1,885 | 2,900 | 11,894 | △336 | 11,558 |

(注) 1 セグメント利益の調整額、セグメント資産の調整額、減価償却費の調整額、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 連結財務諸表 計上額 (注) 2 |
|------------------------|---------|--------|-------------|--------|---------|--------------|------------------------|
| | 日本 | 米州 | 欧州・ アフリカ | アジア | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 50,516 | 34,537 | 36,536 | 33,926 | 155,517 | — | 155,517 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 23,791 | 1,325 | 483 | 3,856 | 29,456 | △29,456 | — |
| 計 | 74,307 | 35,863 | 37,020 | 37,782 | 184,974 | △29,456 | 155,517 |
| セグメント利益 | 7,205 | 4,411 | 3,117 | 4,153 | 18,887 | △18 | 18,868 |
| セグメント資産 | 134,528 | 47,589 | 46,405 | 71,582 | 300,106 | △42,850 | 257,256 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 5,395 | 1,767 | 1,564 | 3,426 | 12,154 | △329 | 11,824 |
| のれんの償却額 | — | 330 | 675 | — | 1,005 | — | 1,005 |
| 持分法適用会社への 投資額 | 278 | 39 | — | — | 317 | — | 317 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 9,506 | 2,071 | 5,736 | 3,246 | 20,560 | △616 | 19,943 |

(注) 1 セグメント利益の調整額、セグメント資産の調整額、減価償却費の調整額、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日) | 当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日) |
|---------------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 1,892.35円 | 1,962.21円 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 149.29円 | 148.94円 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 | －円 | 133.97円 |

(注) 1 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前連結会計年度末 (2023年11月30日) | 当連結会計年度末 (2024年11月30日) |
|---------------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 純資産の部の合計額(百万円) | 194,640 | 179,411 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額(百万円) | 13,079 | 12,778 |
| (うち非支配株主持分(百万円)) | (13,079) | (12,778) |
| 普通株式に係る純資産額(百万円) | 181,561 | 166,633 |
| 普通株式の発行済株式数(株) | 99,182,517 | 99,182,517 |
| 普通株式の自己株式数(株) | 3,237,817 | 14,261,174 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(株) | 95,944,700 | 84,921,343 |

2 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日) | 当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日) |
|---|--|--|
| 1株当たり当期純利益金額 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益(百万円) | 14,307 | 13,439 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | － | － |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円) | 14,307 | 13,439 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 95,838,730 | 90,233,194 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円) | － | △21 |
| (うち受取利息(税額相当額控除後)(百万円)) | (－) | (△21) |
| 普通株式増加数(株) | － | 9,922,621 |
| (うち転換社債型新株予約権付社債(株)) | (－) | (9,922,621) |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 り当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株 式の概要 | － | － |

(注) 1 2023年10月16日をもって終了したオーエスジー社員持株会専用信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度95,892株、当連結会計年度－株)。

2 前連結会計年度における潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(6) 販売の状況

(単位：百万円)

| 品 目 別 | | 前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日) | 当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日) |
|-------|-----------|--|--|
| 切削工具 | ねじ切り工具 | 49,050 | 51,686 |
| | ミーリングカッター | 27,983 | 29,366 |
| | ドリル他切削工具 | 42,886 | 46,105 |
| | 計 | 119,921 | 127,158 |
| 転造工具 | | 11,035 | 11,100 |
| 測定工具 | | 1,968 | 2,405 |
| その他 | 機械 | 5,843 | 5,919 |
| | その他 | 8,934 | 8,933 |
| | 計 | 14,778 | 14,852 |
| 合 計 | | 147,703 | 155,517 |

4. その他

(1) 役員の異動

役員の異動につきましては、2024年11月18日公表の「取締役及び執行役員の異動に関するお知らせ」をご覧ください。